

学位論文審査の要旨

	文 吉英 【比較社会文化学専攻 平成25年度生】	要 旨
学位申請者	文 吉英 【比較社会文化学専攻 平成25年度生】	<p>文吉英氏の研究は、グローバル化する日韓の学歴社会の背景要因を概観しつつ、日韓の小学生の母親を対象に教育価値観、子どもへの期待、養育態度を明らかにし、教育価値観、子どもへの期待が養育態度に与える影響を比較検討したものである。公开发表では、各章の要旨を簡単に論じ本研究で得られた知見を整理し、教育価値観と子どもへの期待が養育態度との関連に焦点を当て質的調査と量的調査から解明した結果を論じ、総合的考察、今後の課題について言及した。</p>
論文題目	日韓における母親の養育態度に関する研究-教育価値観、子どもへの期待に着目して-	<p>審査は左記の5名の審査委員により、11月から書面審査をはさみ3回実施されたが、1月25日に行われた公开发表会では、博士論文の要旨のプレゼンテーションが実施され、その後、質疑応答が行われた。プレゼンテーションは明晰かつわかりやすい内容であったが、参加者からは、「日韓の母親だけでなく他国を入れることで両者の養育態度の差異がより明確になるのではないか」「自分の両親からの養育経験の関連性はどうか」「日韓の母親の最終学歴の及ぼす差異は何か」等の質問があり、真摯な態度で的確に応答した。その後行われた最終審査委員会では、審査員一様に研究課題に即した明晰かつ総合的な分析がなされており、独創性の高い論文であると評された。審査者からは今後の課題として、国際比較調査や社会経済的要因を加味した発展的な研究の可能性などが指摘された。</p>
審査委員	(主査) 教授 加賀美 常美代	<p>最終試験では、論文内容および周辺領域の基礎知識について適切な回答を得られたため、最終試験を合格と判定した。また、本研究は独創的かつ有意義な研究で、異文化間教育および異文化間心理学に貢献しうるものとして高く評価され、博士(人文科学、Ph.D. in Intercultural Education)として認定するに十分であると、全員一致で学位授与を決定した。</p>
	教授 佐々木 泰子	
	准教授 西川 朋美	
	教授 森山 新	
	教授 浜野 隆	
インターネット公表	<p>○ 学位論文の全文公表の可否 (可 ・ <input checked="" type="radio"/>)</p> <p>○ 「否」の場合の理由</p> <p>ア. 当該論文に立体形状による表現を含む</p> <p>イ. 著作権や個人情報に係る制約がある</p> <p><input checked="" type="radio"/> ウ. 出版刊行されている、もしくは予定されている</p> <p>エ. 学術ジャーナルへ掲載されている、もしくは予定されている</p> <p>オ. 特許の申請がある、もしくは予定されている</p> <p>※ 本学学位規則第24条第4項に基づく学位論文全文のインターネット公表について</p>	

